

B—13 汗の中に含まれる黄色物質について

梶山女学園大 ○山内 和子
小林 重喜

1. 汗についての研究は、久野氏などの努力によって生理学的分野は大いに開拓されている。しかし、汗が原因となっておこる被服管理上、あるいは被服衛生上の問題の中には、生理学的な研究の成果だけでは解決できないものが沢山ある。衣服が黄色に汚染されるのもその一例であろう。それで、私たちは被服学の立場から汗をみなおすことを試み、まず衣服を黄変させる汗の成分を追求するとともに、その除去法を検討した。

2. 市販の晒を糊抜きして下着に縫いつけ、これに吸収された汗をクロロホルムで処理し、試料液とした。この試料液からできるだけ脂肪分を分離したのち、黄色物質の検索を試みた。

なお、汗による黄色汚染布を数種の試薬で処理し、その脱色状況を調べた。

3. 汗の中には黄色物質が含まれ、少なくともその一部は、ほぼビリルビンであろうと推定された。

なお、汗による汚染布は、汗付着後できるだけ短時間内に水洗することが一番望ましい。汚染後そのまま放置し、洗剤洗いだけで除けなくなったものは、生地の種類や染めを考慮しながら、漂白剤、クロロホルム、トリクレンで処理すればかなり目的を達することができる。